

イプソス 自動車産業ナビゲーター

シンジケート調査のご案内

2016年10月

イプソス株式会社



GAME CHANGERS



イプソス 自動車産業ナビゲーター

～シンジケート調査のご案内

自動車産業は、今まさに、新時代に突入しようとしています。イプソスのグローバル自動車チームでは「モビリティの未来」にまつわる世の中の動き、人々の考え方の変化をとらえ、系統立てて整理していきたいと考えています。

今回ご紹介する「イプソス 自動車産業ナビゲーター」は、シンジケート調査を継続的に実施することで、自動車産業における重要なトレンド（以下3つ）に関するインサイトをご提供いたします。



調査モジュールとタイムライン:

- 調査1. 自動車運転の革新的変化について(自動運転 と コネクテッドカー): 2016年第4四半期
- 調査2. 自動車のシェアリングサービスについて (カーシェアリング と 配車サービス): 2017年第1四半期
- 調査3. 電気自動車について(電気自動車に対するニーズ と 購入/使用意向): 2017年第2四半期



調査方法と調査範囲:

- 調査実施国: 米国、中国、ブラジル、欧州5か国 (ドイツ、フランス、英国、イタリア、スペイン)
- 調査手法: オンライン調査(イプソス アクセスパネルを使用)
- 調査対象者数: 各国各調査ごとに 2,000サンプルを確保。
トータルサンプル数 60,000サンプル (調査ごとに、20,000サンプルを確保)
- 長期的なトレンド&パネルを使ったアプローチ:
各調査に同じ回答者(50%程度を想定)が参加することにより、その人その人の考え方の長期的変化を理解することが可能となります。3つのトレンドを個々及び合わせて分析することによって、「モビリティの未来」に関する全体的なインサイトを獲得することが可能となります。



投資費用:

- 総計**3,480,000円**(消費税別)で、全市場の全データをご購入いただけます。
- 1カ国単位でのデータ購入の場合は、**1カ国あたり950,000円**(消費税別)となります。



詳細はこちらまで:



担当: 宮本 忠英

Tadahide.Miyamoto@Ipsos.com

+03 6867-8122 (部門代表)

イプソス 自動車産業ナビゲーター

調査の3ステップ

現在、自動車産業は飛躍的な変化の真っ只中にいます。その変化に取り残されないため、自動車メーカーには、消費者が「何を受け入れ、何を欲しているのか」を常にモニタリングし、今後の変化に十分に備えることが求められています。

調査1:

自動車運転の革新的変化について

(自動運転 と コネクテッドカー)

2016年第4四半期 実施予定

トピック(案):

- 「自動車」「モビリティ」「IoT(あらゆるもののインターネット化)」と聞いて想起すること (もの)
- コネクテッドカーのコンセプト、サービスに関心があるかどうか
- 自動運転のコンセプトに関心があるか
- 自動パーキングのコンセプトに関心があるか
- 自動車の遠隔診断に関心があるか
- 自動運転中、手が空いた時間をどのように活用するか
- 未来の交通セクターに登場する従来の自動車会社と新しく参入する産業に対する受容性
- 世帯保有車 (台数、メーカー/モデル名、購入車/リース、新車/中古車、主使用車/併有車)
- 新車の購入意向 (メーカー/モデル名)
- カーシェアリング/配車サービスの利用状況
- 属性項目 (年齢、性別、世帯年収など)

調査2:

自動車のシェアリングサービスについて

(カーシェアリング と 配車サービス)

2017年第1四半期 実施予定

トピック(案):

- シェアリングサービス(カーシェアリング 及び 配車サービス)の利用実態
- 交通手段の利用パターン (自分の車、シェアリングした車、タクシー/配車サービス、電車/バスなどの公共交通機関)
- 交通手段の利用ごと、及び 移動理由別に見た移動手段の選択
- シェアリングサービスなど新しいサービスに対する受容性 (アプリ、シェアリングサービスの申し込みなど)
- シェアリングサービス利用に対する問題点、障壁
- 新しい形態の自動車所有/サービス (例: 柔軟な対応が可能なリースなどについて)
- シェアリングサービスの価格受容性
- 今日における自動運転の受容性
- 属性項目 (年齢、性別、世帯年収など)

イプソス 自動車産業ナビゲーター

調査3:

電気自動車について

(ニーズと購入/使用意向)

2017年第2四半期 実施予定



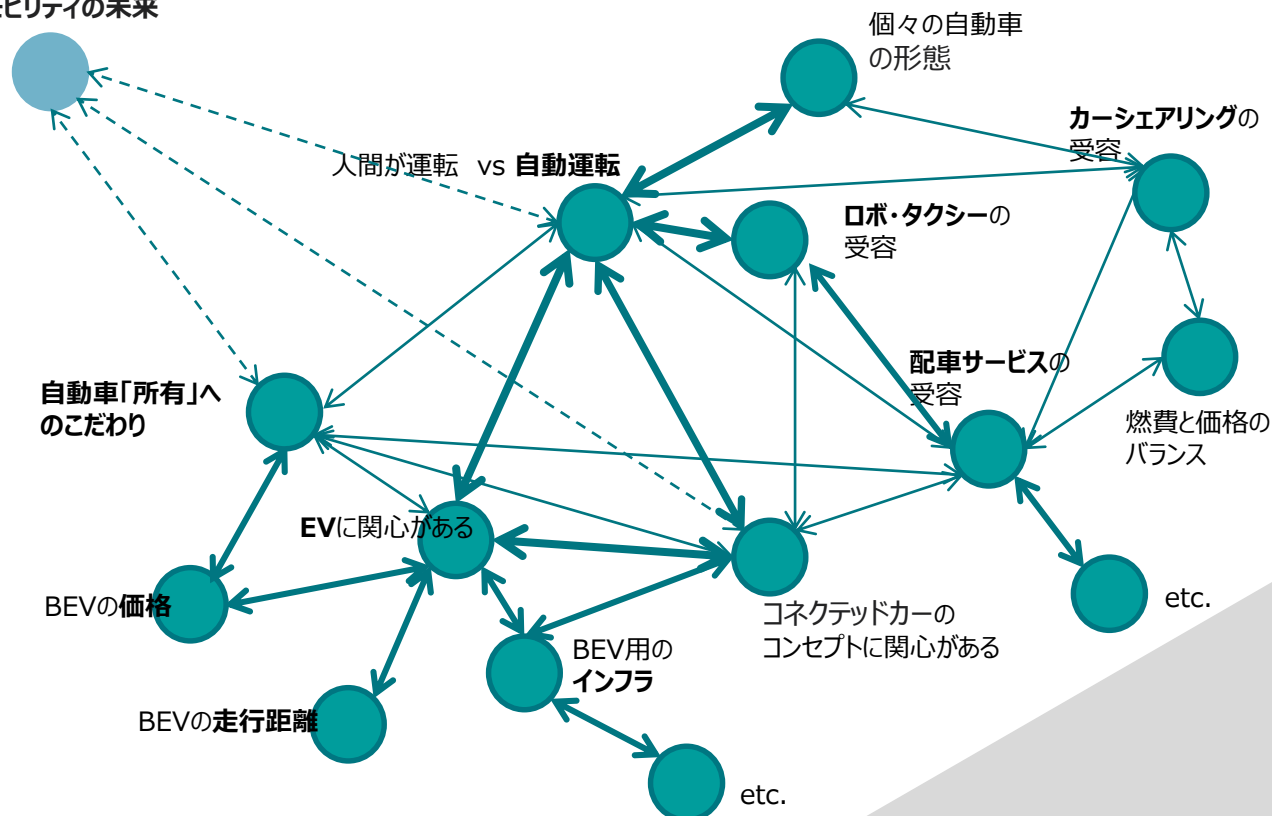
トピック(案):

- ・ 「内燃機関エンジン vs 電気自動車(BEV)/ハイブリッド車(HEV)/プラグインハイブリッド車(PHEV)」と聞いて想起すること (もの)
- ・ BEV / HEV / PHEVの受容性、関心度、ならびに、購入意向
- ・ EVの利用・保有に対する障壁 (1 充電あたりでの走行距離、充電施設、価格など)
- ・ シェアリングサービスにおけるEVの重要性
- ・ 世帯保有車 (台数、メーカー/モデル名、購入車/リース、新車/中古車、主使用車/併有車)
- ・ 属性項目 (年齢、性別、世帯年収など)



これら3つの調査は、それぞれが価値のあるインサイトを提供できるものとなっています。新技術、シェアリングサービス、EVに対する世論が変化していく様子を観察していくことは、意義深いことと考えられます。また、これらの重要なトレンドは、独立したものではなくお互いに関連性があると考えています。イプソスでは、イプソス・ベイジアンネットモデルを使って、これらの項目相互の複雑なつながりを分析し、各項目同士をつなぎ合わせて全体像を把握することが可能です。

モビリティの未来



GAME CHANGERS

